

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

学齢簿システム等管理事業

予算額 5,253 千円

目的

学齢簿システム等の利用により、住民票システムと連動し、住民票と整合性のとれた学齢簿編成事務、就学前健診事務、就学通知発送事務、就学援助事務を適切に管理する。

主たる内容

学齢簿システム等の保守管理を行う。

一般会計

学齢簿システム等改修事業

予算額 26,540 千円

目的

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年法律第40号）が令和3年9月1日から施行されたことに伴い、政令で定められた20業務（令和4年4月時点・学校教育課は就学事務）を総務省の定める標準仕様書に準拠したシステムへ令和7年度までに移行する。

主たる内容

総務省の定める標準仕様書に準拠したシステムを導入する。

一般会計

学校活動応援事業

予算額 21,691 千円

目的

- 教育水準の向上とともに心豊かな児童生徒の育成を図る。
- 各学校の実態及び課題に応じた総合的な学習の推進を図る。
- 理科学研究発表や各種研究物の出品・応募等の支援や、観察・実験等の探究活動や自然及び科学技術に触れる機会を増やし、児童生徒の理数への興味・関心を高める。
- 次世代の親を育成するため、中学生に幼い子と触れ合う機会を与え、豊かな心を育成する。

主たる内容

- 創意ある学校づくり事業（委託）：地域の人材による本物体験、伝統文化等を活かした学習の実施
- 総合的な学習実施事業（補助）：各学校の実態及び課題に応じた総合的な学習の実施
- 理数大好き推進事業：理数大好き推進協議会への委託及び小中学校への理科学研究補助
- 保育体験実施事業（委託）：中学3年生が幼児園等へ出かけ、幼児と触れ合う体験の実施
- 科学実験教室・科学実験ショー開催

一般会計

魅力あるあいちキャリアプロジェクト推進事業

予算額 215 千円

目的

生徒が職場の魅力を感じ、望ましい勤労感や職業観を醸成できるようにするため、職場体験学習を核とした中学校1年生から3年生までの系統的なキャリア教育の推進を図る。

主たる内容

- 1年生 ガイダンス事業
職業人の講話を通して、人への接し方や仕事への理解を深める。
- 2年生 職場体験事業
職場体験を通して、自分の生き方について考える。
- 3年生 プレゼンテーション事業
他者への発表を通して、自己の生き方について考えを深める。

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

東吉野村文化交流事業

予算額 519 千円

目的

刈谷市と歴史的な関わりが非常に強い、奈良県東吉野村との文化的な交流を図る。

主たる内容

東吉野村の児童を刈谷市に迎え入れ、文化的な交流活動をする。

一般会計

特別支援教育活動事業

予算額 2,946 千円

目的

障害のある児童生徒のニーズにあった教育的支援を行い、児童生徒の社会性、協調性を伸ばす。関係機関とのネットワークの形成を図り、特別支援教育の深化向上を目指す。

主たる内容

【経常】
○刈谷市特別支援教育連携協議会の運営
○刈谷市特別支援教育推進協議会への委託
○刈谷市教育支援委員会の運営等
○OWISC-V 知能検査コンプリートセットの購入

一般会計

地域学校協働活動推進事業

予算額 10,732 千円

目的

地域と学校が相互に連携して地域ぐるみで子どもの成長を支え、次代の地域の担い手を育む「地域学校協働活動」を実施することで、地域と学校双方の活性化及び子どもの学びや体験活動の充実を図る。

主たる内容

○学校と地域ボランティア等とのニーズ調整及びコーディネートを行う地域学校協働活動推進員を配置する。
○市内各小中学校に地域学校協働本部を設置するために必要な環境を整備する。

一般会計

学校における医療的ケア実施体制構築事業

予算額 580 千円

目的

学校における医療的ケア実施体制の在り方を検証し、高度な医療的ケアに対応できる組織及び体制の構築を図る。

主たる内容

○医療的ケアを必要とする児童生徒を学校で受け入れるための校内支援体制や、医療的ケア児等の在籍する学校、関係機関との連携体制を構築する。
○運営協議会等を開催し、市内の学校に在籍する医療的ケア児等の支援体制の検討、情報共有を行う。

一般会計

進路指導事業

予算額 4,000 千円

目的

中学生の高校進学、就職指導を目的とした生徒の将来への適切な指導の充実を図る。

主たる内容

高校進学、就職指導を目的とした生徒の将来への適切な指導の充実を図るため、以下の内容等を刈谷市教育研究会へ事業委託する。

○進路指導計画、指導の進め方の検討
○進路状況の調査
○高等学校の特色の分析
○事業所の特色の分析
○志願状況の分析検討

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

英語・水泳外部指導活用事業

予算額 101,439 千円

目的

○英語

児童生徒が外国人講師と触れ合い、生きた英語を学ぶことにより、英語に対する興味・関心を深め、英語学習の充実を図る。

○水泳

老朽化した学校プールの取り壊しに伴い、委託業者の管理・運営する屋内プールで水泳授業を行うことで、安全かつ計画どおりに水泳授業を実施する。また、専門インストラクターの指導による質の高い授業を実施する。

主たる内容

○英語

・外国人英語指導講師を小中学校に派遣し、専科教員や担任教師とともに英語授業を行う。
・小中学校の現職教育の指導助言を必要に応じて行う。

○水泳

富士松南小学校及び住吉小学校にて水泳指導委託を行う。

一般会計

外国人児童等支援事業

予算額 26,209 千円

目的

ポルトガル語（ブラジル人）、タガログ語（フィリピン人）、中国語及びベトナム語に対応する語学指導員を小中学校へ派遣する。また、語学相談員を拠点校に配置するなどして、外国人児童生徒に生活適応支援や語学指導等を行うことにより、教育支援及び学校生活の充実を図る。

また、愛知教育大学と連携し、外国人児童生徒の学習支援に関する課題の解決を図り、地域社会の発展に寄与する。

主たる内容

○語学指導員（ポルトガル語1人、タガログ語3人、中国語1人、ベトナム語1人）による巡回指導

○語学相談員（ポルトガル語1人、タガログ語3人）によるプレスクール

○愛知教育大学が、日本語指導のために学生を各校に派遣する費用の負担、補助教材や教科指導カリキュラム開発機会の提供

一般会計

いじめ及び不登校児童生徒指導事業

予算額 75,087 千円

目的

いじめや不登校の児童生徒及び保護者に対する相談、指導等を個別に行うことで改善を図るとともに、関係機関に働きかけるなど、問題解決に向けた支援を図る。また、学校生活における児童生徒の意欲や満足感、及び学級集団の状態を把握することで、いじめや不登校の未然防止を図る。

全小中学校に心の教室相談員を配置し、児童生徒が心のゆとりをもてるような環境を提供する。

主たる内容

○市内3箇所にすこやか教室を設置する。

○全中学校にスクール・ほっと・アシスタントを配置する。

○スクールソーシャルワーカーを配置する。

○スクールカウンセラーを各校へ配置する。

○質問紙によるアンケートを実施する。

○全小中学校に心の教室相談員を配置する。

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

学校教育活動支援事業

予算額 157,089 千円

目的

一人ひとりを大切にする教育を推進するため、支援指導補助員を配置して、児童生徒の障害の状況に応じた適切な教育支援を行う。

子どもたちが保護者等とともに、校外で、体験や探求の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することを目的に「ラーケーションの日」を実施する。

主たる内容

○障害のある児童生徒に対して、その障害に応じた適切な教育支援や介助を行うため、該当校に支援指導補助員を配置する。

○「ラーケーションの日」に伴う教職員の負担軽減のため、学校活動支援員を配置する。

一般会計

児童生徒学力等調査事業

予算額 19,064 千円

目的

児童生徒の学力定着度を客観的に把握し、確かな学力を身に付けさせるための標準学力調査及び知能検査用品を購入する。

主たる内容

○標準学力調査

小4～小6 国・社・算・理

中1～中2 国・社・数・理・英

小5、中2 意識調査

○知能検査

小2・小4・小6・中1・中3 実施

○就学児知能検査

一般会計

理科観察実験支援事業

予算額 3,497 千円

目的

地域の人材等を観察実験アシスタントとして配置し、新学習指導要領のポイントである観察実験を重視した理科教育を実現する環境整備を図る。

小学校は、理科の専門ではない教員も理科の授業を行うこととなる。高学年になると実験や観察が高度になり、準備に時間と手間がかかるため授業において観察実験が敬遠されがちになっている。観察実験アシスタントを配置し、高学年の理科授業の観察実験の充実を図る。

主たる内容

理科授業における観察実験の準備及び授業の補助を行うため、退職した教員や研究者・技術者、大学院生、大学生等地域人材を活用し、観察実験アシスタントとして全小学校に配置する。

週1時間、35週（5年・6年）

一般会計

読書推進事業

予算額 10,252 千円

目的

学校司書を配置することにより、学校図書館の機能を充実させ、児童生徒の読書量の向上を図り、感性を磨き、表現力及び想像力を高め、人生をより豊かに生きるための力を身に付けさせる。また、小学校で読書活動を援助している保護者等の活動をより効果的かつ円滑なものにするとともに、児童の読書活動の充実を図る。

主たる内容

○読書活動の支援、司書教諭の補助、学校図書館等の掲示物の作成、児童生徒への啓発活動、図書館ボランティア等への指導等を行う6名の学校司書を配置する。

○各校で行われた読書指導の成果を感想文集「読書のあとで」にまとめ、読書指導を推進するための指導に生かす。

○読書感想文集の印刷

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

非常勤講師配置事業

予算額 107,664 千円

目的

きめ細かな指導を行うことができるように授業等を充実させ、児童生徒への対応を充分に行うことができるようにするため、各種非常勤講師を配置することにより、学力向上及び学校生活・安全面等への強化を図る。

養護教諭支援員を配置することにより、養護教諭の負担軽減を図る。

児童生徒や保護者からの相談に対応し、心のケアや支援を図る。

主たる内容

○全小学校の全学年における少人数授業等への非常勤講師の配置

○宿泊を伴う学校行事等、養護教諭が不在となる際の養護教諭の業務、就学時健康診断及び定期健康診断時の養護教諭の業務支援を行う養護教諭支援員の配置

一般会計

現職教育推進事業

予算額 7,620 千円

目的

○教職員が学校の枠を超えて、授業研究や情報交換を行い、教職員の授業力向上などの資質向上に取り組み、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を育む。

○各学校に研究指定をすることで、研究的に現職教育計画を立案し、研究主題の深化・拡充を図り、授業研究の充実と指導資料の整備に努める。

主たる内容

○教科指導講習会、いじめ対策等カウンセリング研修会開催

○現職教育研究委託（全小中学校）

○現職教育推進事業委託（教育研究会）
各教科部会・専門委員会等の調査研究、教科別実技研修会等を委託

○学校環境緑化研修委託（緑化研修委員会）

○情報教育研修委託（タブレット・ICT教育推進委員会）

○教育調査研究事業（本指定校3校、予備指定校3校） 他

一般会計

私立高等学校等授業料補助事業

予算額 21,000 千円

目的

私立高等学校等在籍者の保護者に授業料の補助を行い、公私立学校間における保護者負担の格差是正を図る。また、教育の機会均等の原則を確保し、私立学校教育の振興に寄与する。

主たる内容

私立高等学校等在籍者の保護者に授業料の補助（年額25,000円）を行う。

一般会計

奨学会補助事業

予算額 3,780 千円

目的

刈谷市奨学会の事業に対し補助を行い、刈谷市の小中学生の教育振興を図り、将来有用な人物の育成に寄与する。

主たる内容

刈谷市奨学会の事業に対し、補助を行う。

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

芸術・文化関係開催支援事業

予算額 11,941 千円

目的

児童生徒が美術、音楽等の芸術分野活動に親しみ豊かな感性を培ったり、理数、技術家庭分野で創意工夫に取り組み科学技能の知識を身につける。

主たる内容

○スクールコンサート、バンドフェスティバル、小中音楽会等音楽会、刈谷っ子ギャラリー、生活創意工夫展、観劇会等の開催
○各種大会等児童輸送費助成

一般会計

校外学習事業

予算額 24,417 千円

目的

○社会科の授業の一環として、公共施設等を見学することにより、人々の暮らしや産業、まちづくりについての学習の効果と社会科学習の向上を図る。
○刈谷市議会の議場を見学し、様子等について説明を聞くことで、地方自治の仕組みを理解する。
○教育の場を自然豊かな環境に移し、活動することにより、健康増進を図る。

主たる内容

○わたしたちのかりや学習事業（小3・4）
・公共施設等の見学
・ハイウェイオアシス観覧車乗車（小3）
・上野浄水場見学（東海市）（小4）
○地方自治制度学習事業（中3）
刈谷市議会の議場を見学し、刈谷市議会の様子等について学習する。
○みどりの学校実施事業（小5）
・愛知県野外教育センターにおいて実施
・野外活動補助のキャンプカウンセラーを各学校に配置

一般会計

防犯対策事業

予算額 3,514 千円

目的

児童生徒の安全確保

主たる内容

○児童生徒のランドセルやカバン等に取付が可能な携帯用防犯ブザーを購入し、小学校1年生に配付する。
○警察OBのスクールガードリーダーを配置し、専門的な視点からスクールガードの指導を行ったり、登下校時に巡回指導をしたりして、児童の安全を確保する。

一般会計

子ども相談センター管理事業

予算額 9,287 千円

目的

子ども相談センターの円滑な管理運営を行う。

主たる内容

○施設の維持管理費・光熱水費（電気・水道・ガス）
・修繕費・電話料・委託料（清掃委託・保守管理委託・樹木管理委託等）
○下水道使用料・土地借上料

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

子ども相談事業

予算額 28,038 千円

目的

子ども相談センターにおいて、親や子ども等の総合的な相談窓口として、他機関と連携し相談活動を行い、具体的な解決の支援をすることで、精神的な安心感をもたらす。

主たる内容

親や子ども等の電話相談、来所相談及び他機関連携を行う。

一般会計

保護児童助成事業

予算額 15,986 千円

目的

刈谷市立の小学校に就学する児童の保護者で経済的に困窮して、子どもを就学させることが困難な方に対し、援助をすることにより負担軽減を行う。

主たる内容

準要保護児童に対する学用品費、校外活動費、修学旅行費の扶助、要保護児童に対する修学旅行費の扶助を行う。

一般会計

特別支援教育就学奨励事業

予算額 6,875 千円

目的

特別支援学級在籍児童の保護者の経済的な負担軽減を行う。

主たる内容

特別支援学級に在籍する児童の保護者のうちで、所得が支給制限額を下回っているものに対し、給食費、学用品費等の一部を扶助する。

一般会計

教科書指導書等整備事業

予算額 101,284 千円

目的

令和6年度から小学校学習指導要領改訂に伴う教科書変更があるため、新規に教員用の検定教科書、指導書及び教材を購入し、学校教育の円滑な実施を図る。

主たる内容

新規に教員用の検定教科書、指導書及び教材を購入する。

一般会計

補助教材整備事業

予算額 26,526 千円

目的

補助教材を活用し、児童の学力及び指導等について効果を図る。また、全ての小学校が共通に使用している補助教材については、市費で購入することにより保護者負担の軽減を図る。

主たる内容

ことばのきまり、算数の友、明るい心、夏休みの日誌、冬休みの日誌等の教材について市費で購入する。

一般会計

理科教育用備品整備事業

予算額 1,185 千円

目的

小学校の理数教育に必要な備品設備を整備し、目的意識をもった観察、実験等が行える教育環境等の整備を図り、科学的な考え方や理解力を高める。

主たる内容

小学校の理科及び算数の教育設備を、国庫補助（概ね2分の1補助）により、小学校15校中5校を対象に整備する。

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

保護生徒助成事業

予算額 22,433 千円

目的

刈谷市立の中学校に就学する生徒の保護者で経済的に困窮して、子どもを就学させることが困難な方に対し、援助することにより負担軽減を行う。

主たる内容

準要保護生徒に対する学用品費、校外活動費、修学旅行費の扶助、要保護生徒に対する修学旅行費の扶助を行う。

一般会計

特別支援教育就学奨励事業

予算額 3,777 千円

目的

特別支援学級在籍生徒の保護者の経済的な負担軽減を行う。

主たる内容

特別支援学級に在籍する生徒の保護者のうちで、所得が支給制限額を下回っているものに対し、給食費、学用品費等の一部を扶助する。

一般会計

教科書指導書等整備事業

予算額 1,490 千円

目的

生徒数の増等による学級数増に対応するため、教員用の検定教科書、指導書及び教材の不足分を購入し、学校教育の円滑な実施を図る。

主たる内容

教員用の検定教科書、指導書及び教材の不足分を購入する。

一般会計

補助教材整備事業

予算額 12,064 千円

目的

補助教材を活用し、生徒の学力及び指導等について効果を図る。また、全ての中学校が共通で使用している補助教材については、市費で購入することにより保護者負担の軽減を図る。

主たる内容

ことばのきまり、数学の友、明るい人生、中学生の読書等の教材について市費で購入する。

一般会計

理科教育用備品整備事業

予算額 951 千円

目的

中学校の理数教育に必要な備品設備を整備し、目的意識をもった観察、実験等が行える教育環境等の整備を図り、科学的な考え方や理解力を高める。

主たる内容

中学校の理科及び数学の教育設備を、国庫補助（概ね2分の1補助）により、中学校6校中3校を対象に整備する。

一般会計

教科書指導書等整備事業

予算額 1,000 千円

目的

刈谷特別支援学校の教員用教科書、指導書及び教材を購入し、学校教育の円滑な実施を図る。

主たる内容

刈谷特別支援学校の小学部及び高等部における教員用教科書、指導書及び教材を購入する。

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

補助教材整備事業

予算額 145 千円

目的

刈谷特別支援学校において、補助教材を活用し、児童生徒の学力及び指導等について効果を図る。また、小中学校が使用している補助教材と共通しているものについては、市費で購入することにより保護者負担の軽減を図る。

主たる内容

ことばのきまり、算数の友、夏休みの日誌、冬休みの日誌等の教材について市費で購入する。

一般会計

刈谷少年少女発明クラブ補助事業

予算額 3,200 千円

目的

次代を担う児童または青少年に対し、科学技術に関する興味・関心を喚起すると共に、創造活動を通してアイデアを実現する喜びを体験させることにより、健全で創造性豊かな児童または青少年の育成に寄与することを目的に設立された刈谷少年少女発明クラブの活動を支援する。

主たる内容

刈谷少年少女発明クラブの活動を支援するため、補助金を交付する。

一般会計

児童生徒等健康診断事業

予算額 33,977 千円

目的

児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

主たる内容

小学校、中学校、特別支援学校における児童生徒及び教職員の健康管理のため、健康診断を行う。

一般会計

保護生徒等助成事業

予算額 44,113 千円

目的

刈谷市立の小中学校に就学する児童生徒の保護者で、経済的に困窮して子どもを就学させることが困難な方に対し、負担軽減を行うことにより支援をする。

主たる内容

要保護児童生徒、準要保護児童生徒に対する医療費及び準要保護児童生徒に対する給食費の扶助を行う。

一般会計

学校保健振興事業

予算額 4,355 千円

目的

学校保健活動の振興を図る。

主たる内容

○全学校の環境調査に必要な検査機器の消耗品の購入
○学校給食配膳用白衣の購入
○全学校の室内空気検査及び水道水、プール水水質検査の折実施
○刈谷市学校保健大会の開催
○全小学校及び特別支援学校小学部のフッ化物洗口事業の実施

令和 6 年度 学校教育課の主な事業

一般会計

中小学校体育連盟事業

予算額 3,776 千円

目的

中小学校体育連盟の運営を補助し、中小学校体育全般の振興を図る。

主たる内容

○学校体育管理に関する研究調査
○学校体育研究、講習会の開催
○小中学校体育大会の開催
○その他、目的達成に必要な事業

一般会計

小中学校各種大会選手派遣補助事業

予算額 2,313 千円

目的

小中学校体育大会選手派遣事業に要する費用を補助することにより、スポーツ活動を奨励し、体力、運動能力の向上と保護者負担の軽減を図る。

主たる内容

○愛知県教育委員会、文部科学省、愛知県中小学校体育連盟及び全日本中学校体育連盟の主催する大会（弓道については全国中学校弓道大会をその大会とみなす）の運賃等の負担
○その他上記以外の大会で、市の代表として出場する大会の運賃等の負担

一般会計

部活動指導者活用事業

予算額 10,968 千円

目的

専門の技能を有する人材を小中学校の部活動指導者として委嘱することにより、地域社会との連携とともに、部活動の活性化を図る。

部活動コーディネーターを配置し、学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を進める。

主たる内容

体育的、文化的な領域、分野で優れた技能・指導技術を身につけた方を中学校部活動の指導者として委嘱する。

また、学校、外部指導者、総合型地域スポーツクラブ等との連絡調整を行う部活動コーディネーターを新たに配置する。

一般会計

体力向上プロジェクト推進支援事業

予算額 440 千円

目的

教員を対象とした講習会を実施し、児童生徒の体力向上及び教員の体育指導力向上を図る。

主たる内容

各種トレーニングやスポーツの専門家による体づくり運動指導会・講習会事業を委託する。